

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

静岡県 御殿崎市

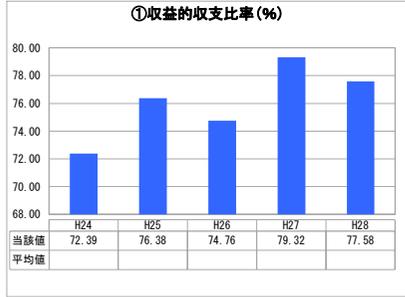
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.39	100.89	2,160

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
89,178	194.90	457.56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,230	0.30	4,100.00

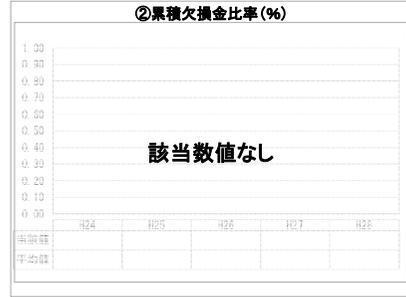
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

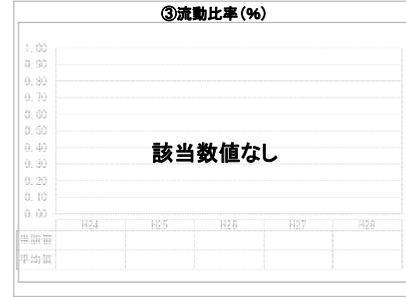
## 1. 経営の健全性・効率性



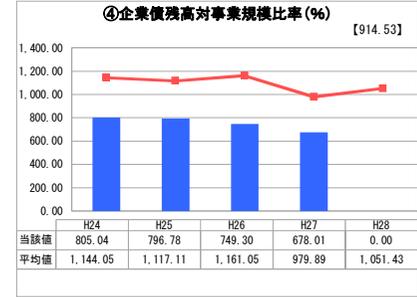
「単年度の収支」



「累積欠損」



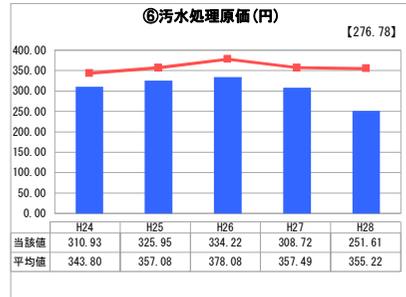
「支払能力」



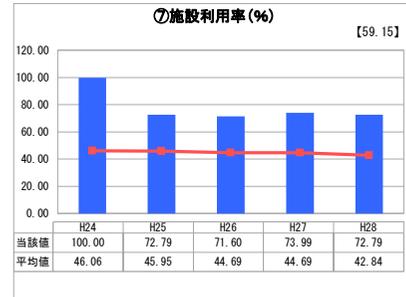
「債務残高」



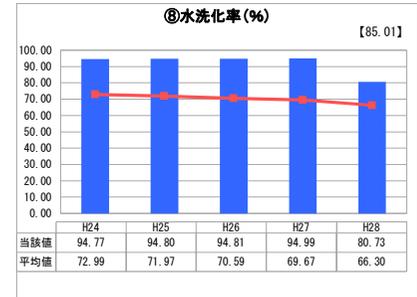
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

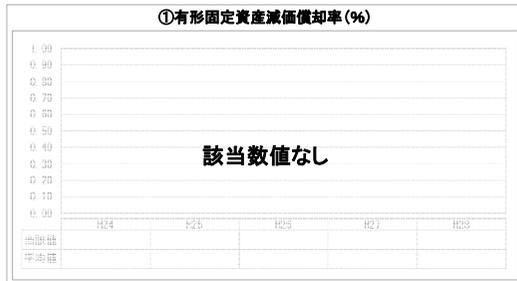


「施設の効率性」

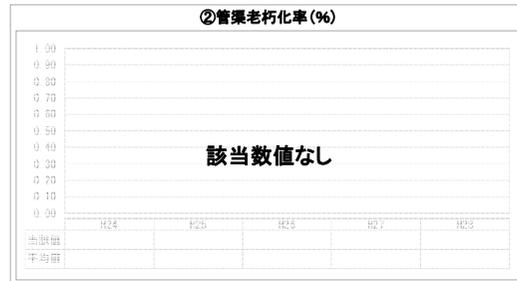


「使用料対象の捕捉」

## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性に係る指標（④・⑤・⑥）に改善が見られるが、これは一般会計繰入金金の「分流式下水道等に要する経費」の基準額について、平成22年度に示された算定方法にもとづく計上を行ったためである。また効率性に係る指標である⑧水洗化率は、1世帯あたりの人口を実績に合わせて見直ししたことともない、数値が下落している。

御殿崎市の農業集落排水事業は、事業の成り立ち上、区域内においても接続可能な世帯が限定されていることから、処理水量の増加により施設稼働率を大幅に改善することは困難である。このため、経営状態の向上のためには使用料の適正化が必要とされるが、従前の使用料体系が公共下水道事業と同じものであることを踏まえ、今後の検討を進める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

御殿崎市の農業集落排水事業は、平成12年度より整備を開始し、平成17年度に供用を開始した。このため、管渠及び設備が比較的新しく、老朽化は維持管理上の大きな問題とはなっていない。

### 全体総括

現時点で新規の投資は予定されておらず、改築・更新についても喫緊の課題とはいえない状況である。このため、当面の間は維持管理費と使用料収入との不均衡の是正を目指すことが健全な経営に資するものであり、「1. 経営の健全性・効率性について」に記載のとおり使用料の適正化に向けた検討を行っている。

また、将来的には修繕・改築にともなう費用の増加が見込まれることから、長期的な経営の安定化のためには、公共下水道事業との統合などを含めた事業運営の検討が必要となると考えられる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。